

～後半戦に向けた最重要戦略はコレ～

後半戦は“まず” 2400発固定島作りに着手せよ!!

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは。GA社 代表取締役 青山真将樹です。

本日は後半戦に向けた営業戦略について分析記事をご提供させていただきます。
2018年後半戦の取り組みは、そのまま2019年の業績に直結すると予想しています。
ぜひ今後の営業戦略の参考にしてください。よろしくお願ひ申し上げます。

■パチンコ部門の3割程度は“高T1Y機種”の固定島 になっていく。2018年後半戦は高T1Y機種に集中投資!!

新規則の内容をふまえると、今後、市場は以下になっていくと分析しています。

- ①新規則機はミドルは1種2種を除き、旧規則機ミドルに比べると
ちょっと厳しい印象。2018年後半に登場する高T1Yミドルは
2019年中も固定島機種として長期設置する可能性が高い。
- ②現状、パチンコ部門の設置比率6割がミドルだが、その内の40～
50%は旧規則機の高T1Y機固定島になっていくのでは？
- ③新規則機はP・Sともに収益性能が低め。パチスロ旧基準機の撤去が
進む中、パチンコ部門高T1Y固定島が収益面でも超重要になる。

■“ヒキ勝負”のおじさんプレイヤー& サラリーマンプレイヤーを2018年後半戦にしっかり掴め!!

2400発機種等、高T1Y機種の高固定島候補機種は以下の要件を兼ね備えた
機械が中心になると予想しています。

- ①幅広い年代に支持される版権力
- ②確変TY6000発以上
→ 新規則と比較して明確に一撃性が高い
- ③特図2の16R比率が高く。出玉安定感も高い。

高T1Y固定島は主軸機の1番手は「CR真・北斗無双」になると考えますが、
この機種だけは3個戻し×継続80%時代のスペック性能で確変TY約7000発の
一撃性を持っていますので、ちょっと別格扱いです。唯一の弱点は、特図2の
振分けの幅が大きく、16R・4Rの「どっちを引くか？」という点で出玉量が決まり、
「せっかく、連チャンしても出玉が増えない」という不平等をちょっと感じてしまう点
です。よって、高T1Y固定島機種候補の2番手以下には上記の①・②・③を
兼ね備えた機械となり、スペック面では単純な出玉量以上に③の“16R比率が
高い→連チャンすれば確実に出玉が増える。”という点が大事だと考えています。

■「CR真・花の慶次2 漆黒」は固定島機種筆頭。 次いで「CRキャプテン翼2」、「CR北斗転生」等が候補

来年以降の市況を想定すると、高T1Y固定島のメイン客層は“ヒキ勝負”で遊技して
くれる、売上・収益貢献の高いおじさんプレイヤー、サラリーマンプレイヤーとなってきます
ので、上記のようなジャンプ版権機種が中心になると想定しています。「CR真・花の
慶次2 漆黒」は中長期的視点で考えると、リユースをフル活用し、順次“固定島用”
として、「漆黒」(2400発ver)へのバージョンアップすることをおススメしています。
(8月でその他、秋以降に登場する高T1Y機種も対象となりますが、基本的には幅広い
世代に支持される版権が中心になると想定しています。
ぜひ、参考にしてください。本日も最後までお読み頂きありがとうございました。